

和歌山県地域災害支援医師養成研修のご案内（R4.2.25 時点）

(1) 目的

本県独自制度である「地域災害支援医師」の養成及び県内医療従事者の災害対応力の更なる強化を目的とする。

(2) 共催

和歌山県・一般社団法人和歌山県医師会

(3) 研修内容

別添プログラムのとおり

- オンデマンド配信による講義と参集意向病院での実習で構成されています。
- 講義及び実習いずれも受講いただくことで修了となります。
- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、実習については調整中であるため、現時点では講義のみ受講いただけます。（実習の詳細は決まり次第ご連絡いたします。）

(4) 受講の流れ

次のページにアクセスし、受講してください。

（医務課ホームページ）

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/saigaikensyuu.html>

① 講義を受講（オンデマンド配信動画の視聴）

② 習熟度及び講義受講確認のためのテストを受験し、提出

③ 各参集意向病院で実施される実習に参加（調整中）

④ 県から修了証を交付
（併せて、日本医師会が発行する JMAT 研修修了証を交付予定）

- 動画は繰り返し視聴可能なため、学習内容の確認や振り返りにご活用ください。
- 実習の実施時期は、病院ごとに異なります。目途が立ち次第ご連絡しますので、それ

までお待ちください。(実習の時期がかなり先になる場合があります。)

- 本研修が日本医師会 JMAT 研修要綱に定める内容に準拠していることから、同会の指定研修会として申請する予定です。

(5) 留意事項

- 講義動画の視聴に必要な通信機器、ソフトウェア、通信回線の利用料金、その他これらに付随して必要となる経費は、受講者にて負担願います。
- 次の行為は禁止とさせていただきます。
 - ・ 各 URL の他者への提供または他者との共有
 - ・ 講義動画及び講義資料の複製、公衆送信、頒布、改変、他のサイトへの転載等

地域災害支援医師 養成研修 プログラム

(別添)

※災害医療に関する基礎知識を幅広くカバーできる「JMAT研修要綱」に基づくプログラムに準拠

1. 講義 (各自でweb動画を視聴のうえ、確認テストを行う)

講義科目	学習目標	講師 (敬称略)	時間
1. 和歌山県の災害医療	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の歴史と今後本県に起こり得る災害及びその被災想定を理解する ・本県の災害医療体制を理解する 	和歌山県医務課 地域医療班 班長 安居 睦	20分
2. 地域災害支援医師・看護師制度の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域災害支援医師・看護師制度が構築された背景を理解する ・地域災害支援医師・看護師の役割、養成体系、身分保障等を理解する 	和歌山県医務課 地域医療班 班長 安居 睦	10分
3. 災害医療概論	<ul style="list-style-type: none"> ・平時の医療と災害時の医療の違いを理解する ・災害医療の基本的な考え方 (CSCATTT) を理解する ・災害派遣医療チーム「DMAT」を理解する 	和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座 講師 那須 亨 (※1)	40分
4. JMAT総論	<ul style="list-style-type: none"> ・日本医師会災害医療チーム「JMAT」を理解する ・地域災害支援医師の活動とJMAT活動の関わりを理解する 	一般社団法人和歌山県医師会 救急・災害医療担当理事 木下 智弘 (※2)	30分
5. 情報の共有・記録	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有や記録のためのツールを知る 	和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座 講師 那須 亨	15分
6. 地域災害支援医師の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の活動 (開始から終了まで) の流れを理解する 	和歌山県医務課 地域医療班 班長 安居 睦	5分
7. トリアージ	<ul style="list-style-type: none"> ・トリアージの意義や概念を理解する ・一次トリアージ (START法) の実施方法及びタグの記入方法を理解する 	和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座 講師 那須 亨	30分
8. 熱傷・外傷の処置	<ul style="list-style-type: none"> ・発災直後に多くの発生が見込まれる傷病 (外傷、クラッシュ症候群、熱傷等) とその処置の手順を理解する 	和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座 講師 那須 亨	45分

※1 日本DMAT隊員/統括DMAT・インストラクター

※2 日本医師会JMAT研修修了者

合計 195分

2. 実習 (各自の参集先病院で行われる実習に現地参加)

実習科目	概要	講師	時間
1. トリアージ	トリアージの演習 実施場所・患者の配置場所	(参集先病院ごとに異なる)	同左
2. 応急処置	軽症者への応急処置 重症・中等症患者の安定化処置及び院内への引き継ぎ		
3. 災害診療記録	災害診療記録の作成		
4. 動作確認	参集～撤収までの一連の流れ		
※上記のほか、地域ごとに必要と考えられるメニューを追加して実施 (例) 院内施設・設備の確認、役割分担の確認 等			